


### 3. 先生機能で授業を円滑に進める

#### 3-1. 子供たちの画面を確認する

スマイル8では、授業支援ソフト「授業サポーター」を使って授業中に子どもたちの活動状況を把握したり、操作を一時的に禁止したり、考えをみんなで共有・比較したりといった制御を簡単に行う事ができます。

#### ■ 操作手順

活用するアプリ：  授業支援

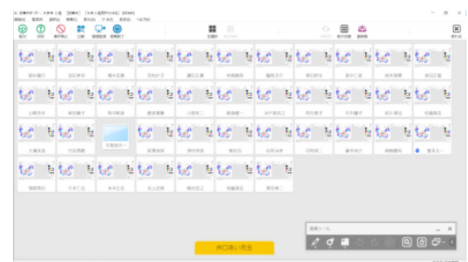
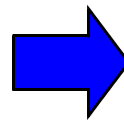
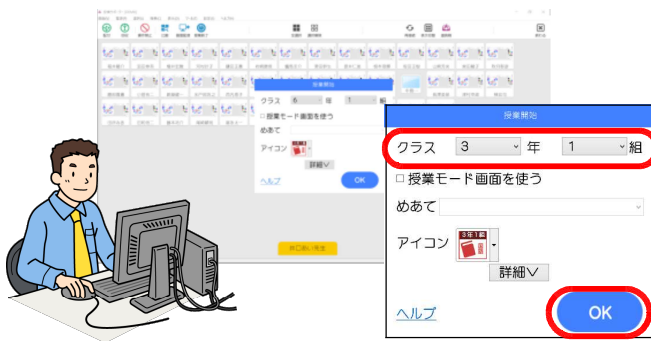
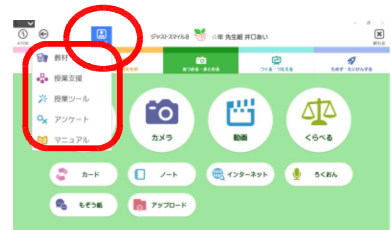


先生

#### 操作1 子供たちの画面を確認・操作しながら授業を進める

##### ① 授業支援を開始する

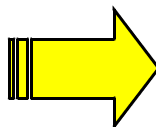
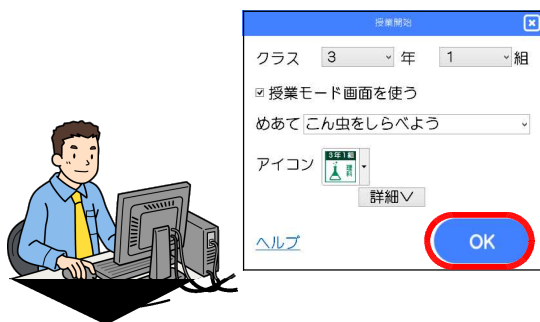
先生メニューから【授業支援】をタップします。  
授業サポーターを起動すると、最初に**授業開始**の設定画面が表示されます。  
これから授業を行う**年組**を設定して【OK】をタップすると、その年組でスマイル8にログインした児童機と接続されます。



指定した年組の児童機と接続

##### ② 児童画面には授業に必要なアイコンだけを表示させる

授業開始の画面から「**授業モード画面を使う**」にチェックを入れて**めあて**を入力してから【OK】ボタンをタップします。  
児童機のデスクトップが緑色の画面で覆われて、授業に必要なアイコンとめあてだけが表示されるようになります。



授業モード画面

### ③ 児童機のデスクトップに教材を配信

授業サポーターの【配信】ボタンから、先生が準備した教材のファイルを児童機に配信することができます。

授業サポーターで選択した端末のデスクトップに指定したファイルを配信します。

※一覧画面でどの児童機も選択していない場合は、すべての児童機が対象となります。

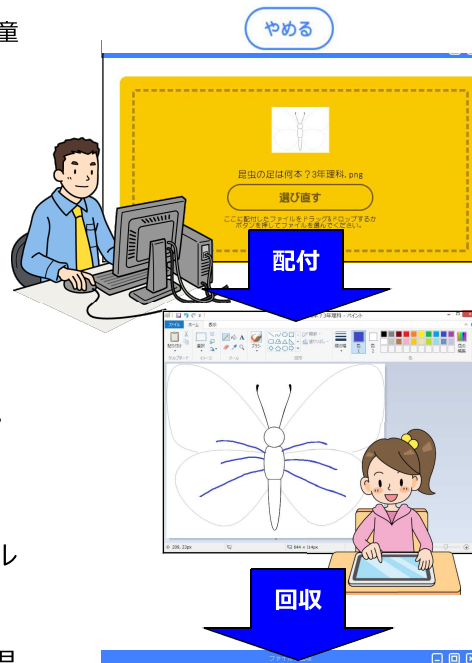
配信したファイルが児童機に届くと、対応するアプリで自動的に開きます。

届いたファイルを使って児童が学習した結果は、そのままファイルを上書き保存しておきます。

※マイフォルダでの配信・回収は(→P.30)で詳しく解説します。

授業サポーターの【回収】ボタンで、配信済みのファイルを回収できます。回収したファイルは、先生機の「ドキュメント¥授業サポーター¥20180623」のような日付の名前がついたフォルダの中に、それぞれ児童の名前のファイル名で保存されます。

※デスクトップへの配信では、授業サポーターを閉じると回収できなくなるので、時間内に配信・回収できる簡易なテストや、回収が不要な資料の配信などに最適です。

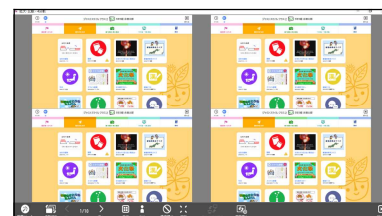
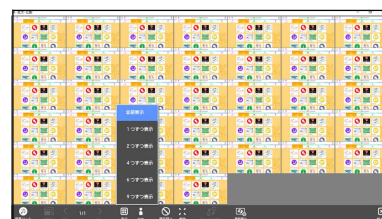


### ④ 児童の画面を取りあげ比較する

授業サポーターの【比較】ボタンをタップすると、選択している児童機の画面が一覧表示されます。

※一覧画面でどの児童機も選択していない場合は、すべての児童機が対象となります。

画面下の【名前】ボタンで、名前を表示・非表示を表示を切り替えられます。



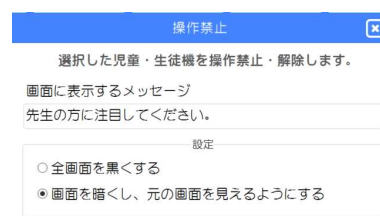
## ⑤ 児童機 の操作を一時的に禁止する

授業サポーターの【操作禁止】ボタンをタップして、設定画面の【禁止】ボタンをタップします。

すると、選択した児童機の画面がロックされて、キーボードやマウス・タッチによる操作をできない状態になります。

※一覧画面でどの児童機も選択していない場合は、すべての児童機が対象となります。

【解除】ボタンをタップすると、すべての操作禁止が解除されます。



## ⑥ 画面を配信する

【画面配信】ボタンをタップすると、右のような画面配信の設定パレットが出ます。

画面を配信するときは「配信元」・「配信先」をそれぞれ選択してから、【配信】ボタンをタップします。

配信を終了するときには【解除】ボタンをタップします。



## ⑦ 授業を終了する

授業を終了するときには、【授業終了】ボタンをタップします。

児童機を終了する方法は3種類あります。

- ・電源を切る
- ・Windowsサインアウト
- ・接続を切る(授業モードを終わる)





● One Point ● 知っていると便利な『工具箱』

-  授業開始
-  みんなの答え
-  アプリケーション一斉起動
-  Webページ一斉表示
-  ブラウザー起動禁止・解除
-  メッセージ
-  録画開始

● 授業開始

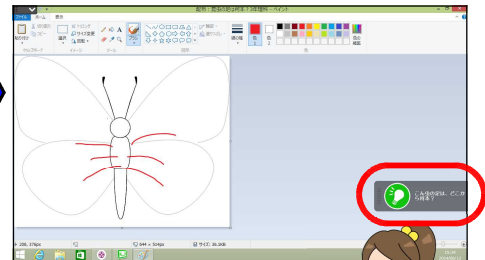
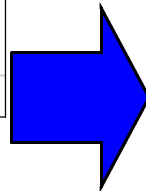
授業開始(→P.13)の再設定をすることができます。

● みんなの答え

児童の画面に、【できた】ボタンを表示させることができます。先生の一覧画面では、ボタンがタップされたかどうかを把握できます。作業の進捗確認に便利です。



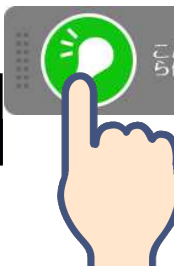
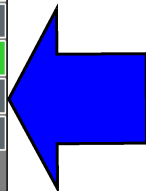
先生がお題を設定し、ボタンの表示を開始



児童機にボタンが出現、児童がボタンをタップ



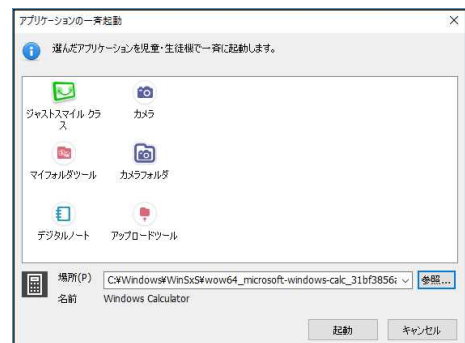
先生機の一覧画面では、できたボタンを押した児童の画面が緑に変わる



● アプリケーション一斉起動

指定したアプリケーションを一覧画面で選択した児童機で一斉に起動します。

※児童機に入っていないアプリケーションを指定して実行した場合は、何も起こりません。



- **Webページ一斉表示**

先生機のブラウザ(Internet Explorer)で開いているページのURLが自動的に「Webページのアドレス(URL)」に表示されます。

【表示】 ボタンをタップすると児童機で一斉に開きます。

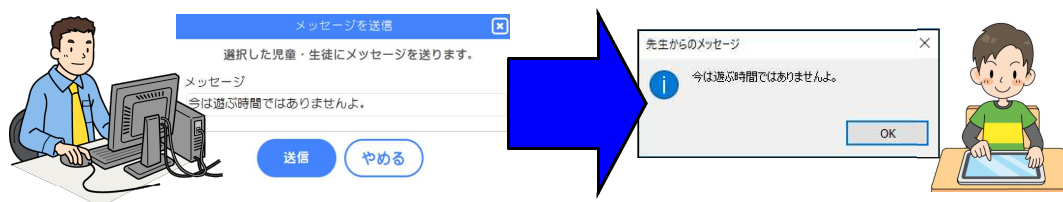


- **ブラウザ起動禁止**

一覧画面から選択した児童機のブラウザ(Internet Explorer、Edge)を起動できないようにします。もう一度実行すると禁止が解除されます。

- **メッセージ**

選択した児童機に、ひとことメッセージを送ることができます。



- **録画開始**

児童が行った操作や手順の課程を後から確認するために、児童機の画面を動画で保存できます。動画ファイルは、先生機の


「C:¥Users¥<ユーザー名>¥Videos¥授業サポーター」

フォルダにAVI形式で保存されます。もう一度実行すると録画を停止します。

## 3-2.学習のポイントを提示する

スマイル8の授業ツールは、電子黒板やプロジェクター提示時に便利なツールです。  
授業ツールは授業支援(授業サポーター)を起動すると、同時に起動します。  
※先生メニュー内の【授業ツール】ボタンから単独で起動することもできます。

### ■ 操作手順

活用するアプリ：  授業ツール



先生

### 操作1 授業ツールを使って児童にわかりやすく教材を提示する



①

②

③

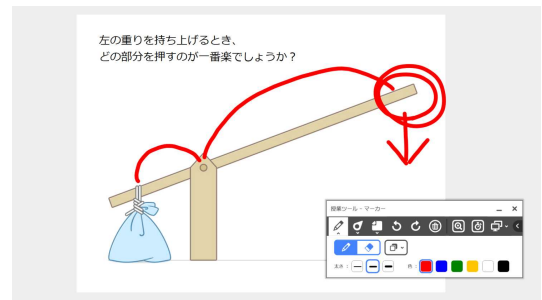
④

⑤

⑥

#### ① マーカー

画面の好きなところに、ペンや指で線を書き込みます。線の太さや色を変えることもできます。

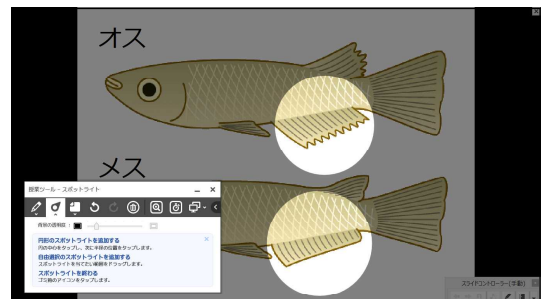


#### ② スポットライト

画面の注目させたいところを指やペンでなぞると、そこだけ明るく表示します。

2回タップすると、正円型のスポットライトも作れます。

作ったスポットライトは、ドラッグして動かすこともできます。

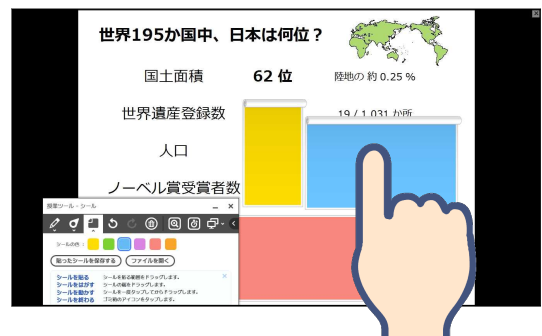


#### ③ シール

画面の好きなところに、めくってはがせるシールを貼ることができます。

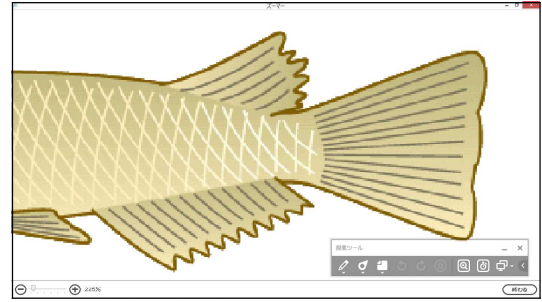
図表などの大事なところを隠し、考えさせたい場面で便利です。

貼り付けたシールは、ふちから少しずつはがすことができます。



#### ④ ズーマー

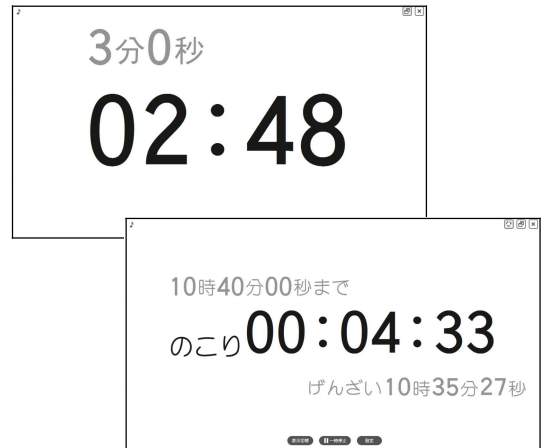
画面の一部分をドラッグして範囲選択すると、その部分だけが別ウィンドウで拡大表示されます。



#### ⑤ タイマー

カウントダウン形式のタイマーを呼び出せます。

指定した時刻までのカウントダウンをしたり、アラームや予鈴を鳴らしたりすることもできます。



#### ⑥ 画面切り替え

先生の手元で見るための画面とは別に、電子黒板やプロジェクターなど児童に見せるための画面がある場合に、出力設定を簡単に切り替えられます。

